

# 中小研 情報教育研究部

## 1 研究主題

メディアを活用し、生きる力を育てる情報教育のあり方

- (1)分かる授業作りのためのICTの効果的な活用
- (2)情報活用の実践力を高める授業づくり
  - ・調べてまとめて伝え合う力を育てる
- (3)メディアリテラシー、情報モラルの指導

## 2 研究の内容及び経過

### ○ 四月 一斉研修

各校での情報教育に関連した、取り組みの実際、疑問・課題などの情報交換

### ○ 夏季研修会の概要

日 時 平成25年8月5日

会 場 湯梨浜町役場講堂

〈 内容 〉

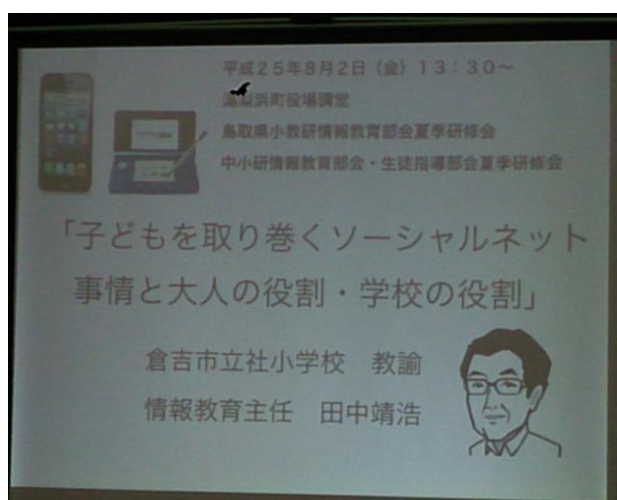
#### ① 開会行事

#### ② 講演 「子どもを取り巻くソーシャルネット事情と大人の役割」

講師 倉吉市立社小学校 田中靖浩先生

私たちや子どもたちが持っている携帯電話(ガラケー)やスマートフォンはもちろんのこと、DSやPSPといったゲーム機やipodといった音楽再生機器は、ある一定の環境さえ満たせば、パソコンと同じでインターネットに接続してメールのやり取りや情報入手することができます。もちろん広島的事件で出てきた、話題のLINE(ライン)やFacebook(フェイスブック)、Twitter(ツイッター)といったSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)等にも接続ができます。鳥取県の小学生を取り巻く環境も大都市とさほど変わりはありません。

今回の講演で、私たち教員が、正しい知識や使い方、そしてそのいい



ところも悪いところも両方きちんと伝えていかなければならないことがわかりました。

私たちが教えるのは情報機器の使い方ではありません。機器を使う際の道徳性・モラルです。そのためにも私たちが学び続けなければいけないということが改めてわかった講演でした。

その後は、各学校から年間計画や情報モラルの指導について実践・現状の情報交換を行いました。その中から、「指導項目の共通理解をはかり、系統性をもった指導の必要性」や、「情報モラルやルール、マナーなどは、日常生活でのモラルやマナーが基盤となっている」といったこと。また、年に1度ではあるが、全学年で項目を設定して指導にあたっている学校の実践が報告されました。また、実際に起こったトラブルの事例も報告され、改めて子どもたちの周りには情報や機器が溢れ、しっかり指導をしていかなければいけないと強く感じました。



また、実際に起こったトラブルの事例も報告され、改めて子どもたちの周りには情報や機器が溢れ、しっかり指導をしていかなければいけないと強く感じました。

③情報交換

④閉会行事

### 3 反省と今後の課題

4月の情報交換では、それぞれの学校の有効なICT機器の紹介や職員研修プラン、実際の事例などでの情報提供があり、とても参考になった。

8月の研修会では、教員が、正しい知識や使い方、そしてそのいいところも悪いところも両方きちんと伝えていかなければならないことがわかった。教員が教えるのは情報機器の使い方ではなく、機器を使う際の道徳性・モラルである。そのためにも教員は学び続けなければいけないということが改めてわかった講演だった。

職員研修の実際のプランなど、様々な面での情報提供があり、とても参考になった。ほぼ全ての学校が情報交換資料を準備されたのでよかった。

今後は、それぞれ学校で、メディアリテラシーと情報モラルの計画をしっかりと作成していく必要がある。